

# 持続的な水産業の実現及び 漁港・漁村の整備について

令和8年5月

農林水産部水産漁港課

# 目次

## I 水産業の概況 . . . . . 4

## II 豊かな海と持続的な水産業の実現

- 1 水産資源の適正管理 . . . . . 6
- 2 瀬戸内海 . . . . . 8
- 3 日本海 . . . . . 13
- 4 経営の安定化 . . . . . 16

## III 活力ある水産業と地域づくりの推進等

- 1 経営感覚に優れた後継者等の  
確保・育成 . . . . . 18
- 2 水産物の需要喚起に向けた  
魚食普及と消費拡大の推進 . . . . . 19
- 3 スマート水産業の推進 . . . . . 20
- 4 安全安心な流通の確保 . . . . . 20
- 5 内水面における水産資源の維持と  
地域活性化の推進 . . . . . 21

## IV 漁港の整備・保全

- 1 漁港・海岸の概況 . . . . . 22
- 2 漁業生産活動の効率化、省力化を  
図るための施設整備 . . . . . 23
- 3 漁港施設の保全対策の推進 . . . . . 23
- 4 防災・減災対策の推進 . . . . . 24

## V 漁場の整備 . . . . . 26

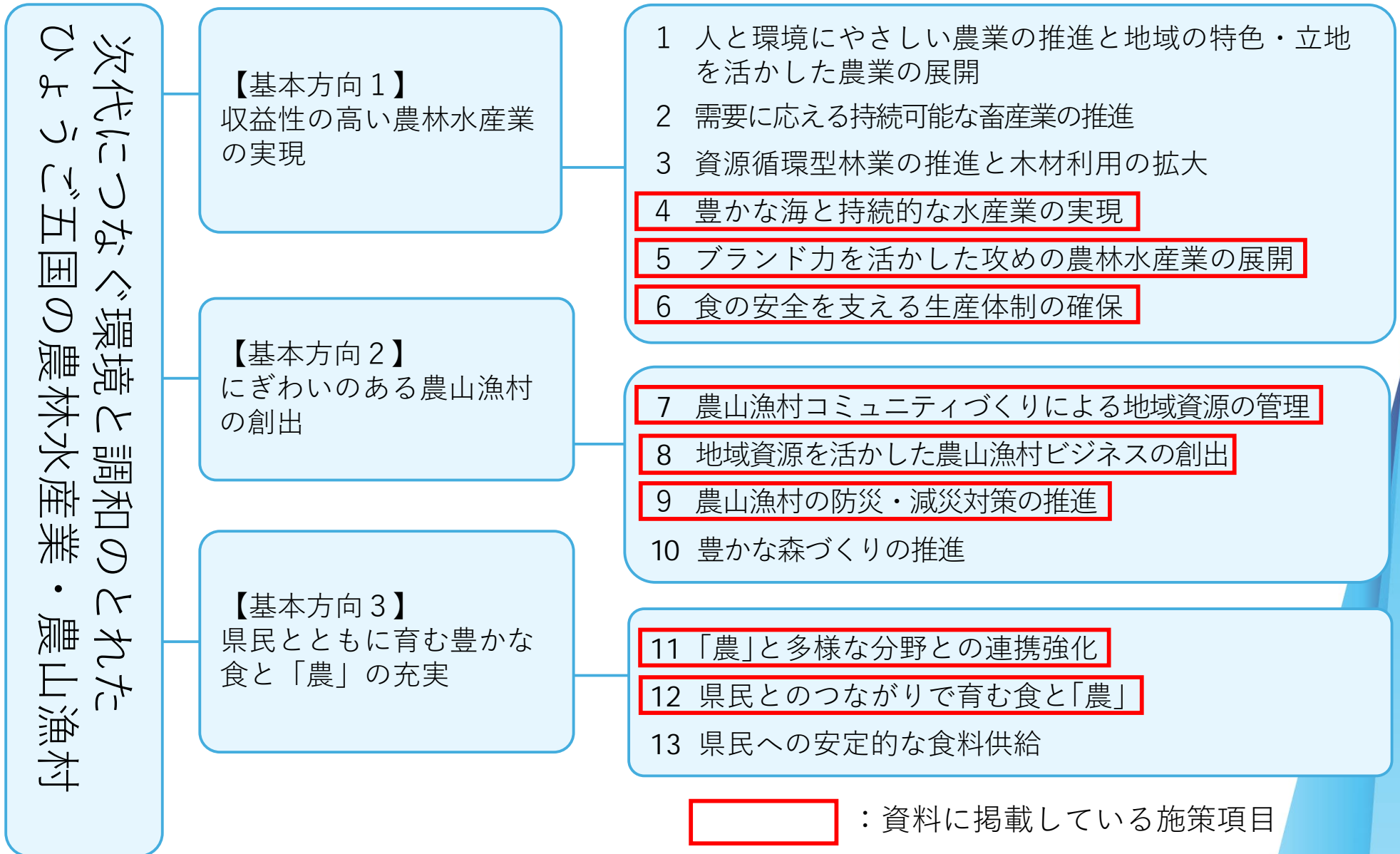
## VI 海業の推進 . . . . . 27

# ひょうご農林水産ビジョン2035施策体系表における位置づけ

## 【めざす姿】

## 【基本方向】

## 【推進項目】



# I 水産業の概況

## 1 兵庫県の漁業生産量及び産出額

- ・瀬戸内海と日本海に面する本県では、異なる海域の特性に応じた多様な漁業が営まれ、**令和6年の産出額は593億円**で**全国7位**、**生産量は9.2万トン**で**同11位**。
- ・**シラスやマダイ、ノリ（養殖）、ズワイガニ、ホタルイカ**など、**高い全国シェアを誇る魚種も多く**、それらを利用した**水産加工業も盛ん**なほか、観光資源としても広く利用され地域の活性化に貢献。

全国シェアの高い魚種

区分		生産量	全国シェア	全国順位
瀬戸内海	イカナゴ	26 t	21.7%	3
	シラス	10,787 t	29.6%	1
	マダイ	2,050 t	13.3%	1
	タコ類	871 t	3.3%	4
	スズキ類	476 t	11.1%	2※1
	エビ類	247 t	2.3%	2※1
	ノリ(養殖)	49,368 t	26.4%	1
	カキ類(養殖)	7,348 t	5.0%	4
日本海	ズワイガニ	545 t	22.8%	2
	ホタルイカ	2,870 t	36.2%	2
	ハタハタ	263 t	18.4%	4
	ベニズワイガニ	1,621 t	13.1%	4
	エビ類	1,036 t	9.8%	2※1
	カレイ類	803 t	2.6%	3※1

本県の海面漁業生産状況

区分	本県	全国シェア	全国順位
漁業生産量	92,136 t	2.6%	11
海面漁業	32,301 t	1.1%	18
海面養殖	59,835 t	7.5%	5
漁業産出額	593億円	4.0%	7
海面漁業	242億円	2.7%	8
海面養殖	352億円	6.0%	5

本県の水産加工品生産状況※2

区分	本県	全国シェア	全国順位
かまぼこ類	41,197 t	11.5%	1
ハタハタ(塩干品)	122 t	74.4%	1
カレイ(塩干品)	805 t	25.1%	2
シラス干し	4,403 t	20.7%	2

※1 県全体での順位を記載（瀬戸内海と日本海の合計で算出）

※2 令和6年データ

# I 水産業の概況

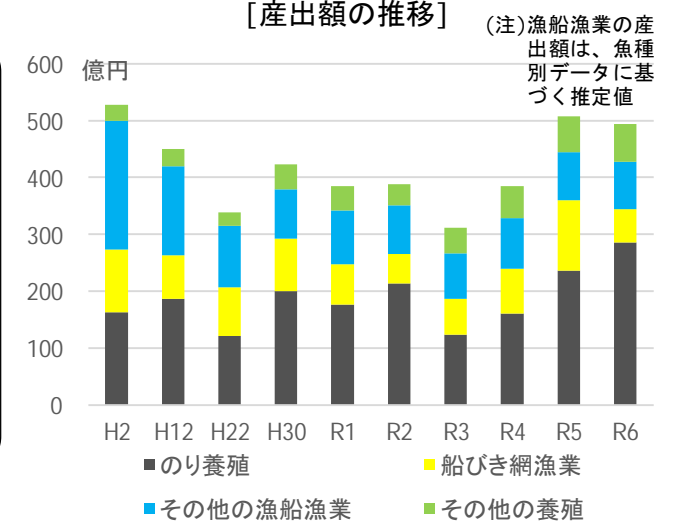
## (1) 瀬戸内海の漁業産出額

- ・内湾性に富んだ静穏な海域を活かした養殖業が盛んであり、漁船漁業は多種多様な漁業が営まれ、小型漁船による一本釣りや刺し網、小型底びき網、船びき網、まき網などがある。
- ・**産出額は493億円**で、**県内の83%**を占めるが、栄養塩類の減少などによる海域の生産力低下が顕在化する中、**ノリ養殖が286億円（58%）**、シラスなどを漁獲する**船びき網が58億円（12%）**を占め、漁業種類の単純化が進行。

### 瀬戸内海における漁業の概要

- 漁協数：35組合
  - 組合員数：3,896人
  - 漁港数：38漁港
  - 漁船数：5,069隻
  - 漁業生産量：8.4万トン
  - 漁業産出金額：493億円
- (令和6年農林水産省統計、兵庫県調べ)

[産出額の推移]



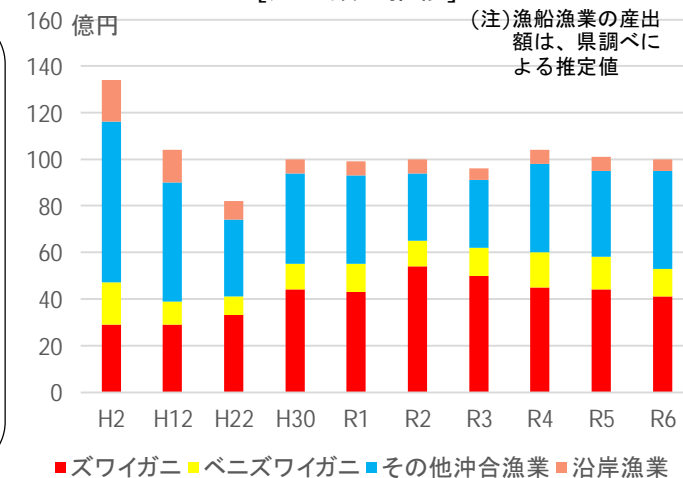
## (2) 日本海の漁業算出額

- ・冬季の風浪が厳しく浅海域が少ないため、古くから沿岸漁業よりも天然の良港を活用した沖合漁業が発達。
- ・**産出額100億円**のうち、底びき網やカニカゴ等の**沖合漁業が95億円（95%）**を占める。
- ・魚種別では**ズワイガニが41億円（41%）**、さらに**ベニズワイガニの12億円**を加えると**53%**に達し、**カニ類への依存**が高まっている。

### 日本海における漁業の概要

- 漁協数：2組合
  - 組合員数：1,575人
  - 漁港数：15漁港
  - 漁船数：739隻
  - 漁業生産量：0.8万トン
  - 漁業産出金額：100億円
- (令和6年農林水産省統計、兵庫県調べ)

[産出額の推移]



## II 豊かな海と持続的な水産業の実現

### 1 水産資源の適正管理

#### (1) 公的管理

- ・今後、**TAC※対象種が順次追加される予定**で、これまでに追加候補として公表された15種には、本県の重要種も多く含まれている。このため、漁業者等がTACによる資源管理の内容を把握し適切な対策をとれるよう、十分な説明を行い、意見を集約。
- ・また、**漁業権漁場の利用や管理の実態を踏まえ、漁場の適正かつ有効な活用を推進**(令和5年9月一斉切替)。

※TACとは漁獲可能量の略で、魚種ごとに国が年間の漁獲量の上限を設定し、その範囲内で漁業を行うことで水産資源を持続的に利用する管理手法

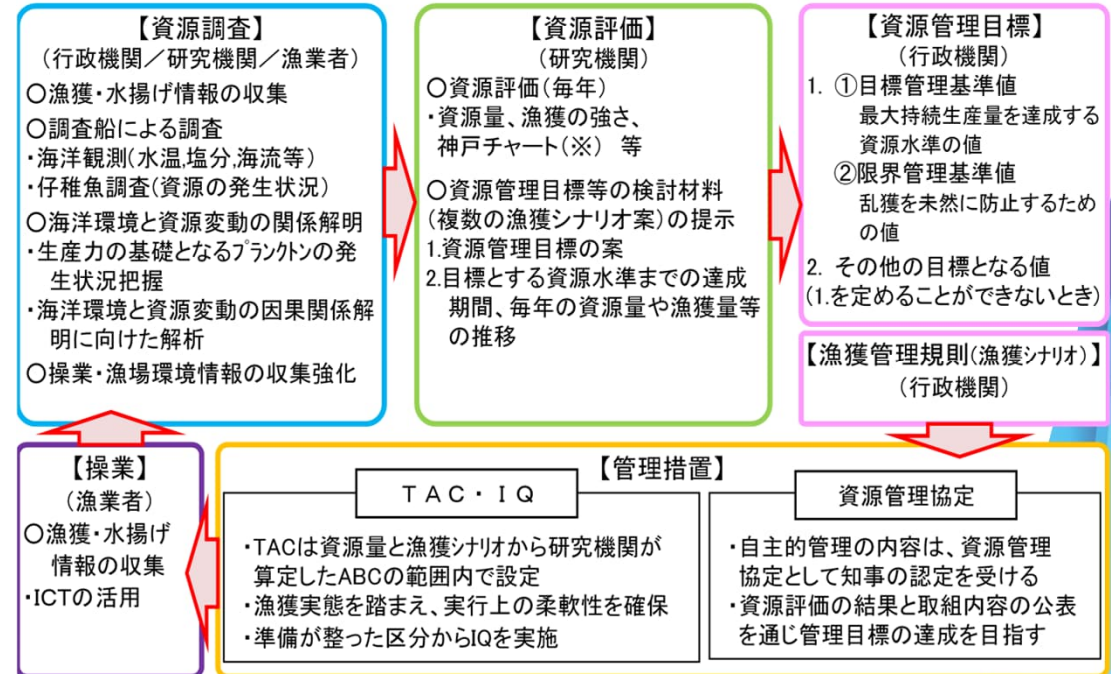
#### TAC管理追加（予定）魚種（令和8年3月現在）

現行8種	サンマ、スケトウダラ、マアジ、マサバ及びゴマサバ、マイワシ、スルメイカ、ズワイガニ、クロマグロ
ステップアップ管理6種※	カタクチイワシ、ブリ、ウルメイワシ、マダラ、マダイ、ベニズワイガニ
追加される予定の候補魚種9種	カレイ類、ホッケ、サワラ、ヒラメ、トラフグ、キンメダイ、ムロアジ類、イカナゴ、ニギス

#### 漁業権免許件数（令和8年3月現在）

区分	共同漁業権	区画漁業権
海面	202件	158件
内水面	16件	4件

#### 新たな資源管理の流れ



※神戸チャート: 資源水準と漁獲圧力について、最大持続生産量を達成する水準と比較した形で過去から現在までの推移を表示したもの

※ステップアップ管理対象種

通常のTAC管理に移行させるため、導入当初は柔軟な運用を図りながら段階的に取組を進める魚種

## II 豊かな海と持続的な水産業の実現

### (2) 漁業者の自主的な資源管理の取組

- 資源の持続的かつ有効な利用には、公的管理に併せ漁業者の自主的な取組が欠かせないため、県では**関係漁業団体と資源管理協議会を組織**。漁業者が自らの取組を**資源管理協定**にまとめ、知事（大臣許可漁業については大臣）の認定のもと資源管理を実施。
- 当該協定の着実な実行に向けて、**水産技術センターによる漁海況情報**の提供や**取組効果の科学的評価**などの支援とともに、漁業取締船による海上巡視などによる指導を実施。

資源管理協定の作成状況（令和8年3月末）

区分	瀬戸内海	日本海	大臣管理	計
協定数	29	3	2	34

#### 【漁業者の取組の代表事例】

##### ベニズワイガニ

本格的なTAC管理に向け、ステップアップ管理を実施していることに加え、6月の1ヶ月間の休漁、禁漁区の設置や小型ガニの混獲を防ぐための漁具への脱出リングの装着等、自主的な資源管理に積極的に取り組んでいる。

### (3) 遊漁者等の理解の醸成と資源の利用調整

- 遊漁者に資源管理に対する理解を求め、公的規制の遵守や漁業者との間の資源や海面の利用調整を図るため、遊漁関係者との意見交換会や多くの遊漁者が集まる「**フィッシングショー大阪**」などの**イベントで啓発活動**を実施。

#### 【遊漁者と漁業者が参加したルールづくり】

- 明石市沿岸では、遊漁者と漁業者の双方が参加して協議を続け、平成28年にマダコ資源の適切な利用調整を目指し「明石市沿岸タコ釣り等のルール」が設けられた。
- 海上保安庁と協力して、このルールに基づき遊漁者に指導を行うとともに、漁業者の資源増殖の取組の紹介や公的規制の内容の周知を図っている。



漁業取締船「はやたか」による遊漁者指導

## II 豊かな海と持続的な水産業の実現

### 2 瀬戸内海～豊かな海の再生と漁業の成長産業化～

#### (1) 豊かな海の再生

##### ア 漁業者による豊かな海を再生する取組の支援

- ・ **海底耕うん**や**アサリ等の放流**、磯焼けの原因となる**有害生物の駆除**など、藻場や浅場の機能を維持・回復する取組のほか、農業者や消費者等と協働して行う**ため池のかいぼり**、**森づくり**や**海浜清掃**を支援。
- ・ 更に、有機肥料を用いた**海底への施肥**など漁業者による取組を推進。



ため池の「かいぼり」の実施  
(淡路市川池)

#### 支援した活動の実績（令和7年度）

支援事業名	活動内容	活動規模	
		組織数	構成員数
豊かな海創生支援事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>○海底耕うん</li> <li>○有害生物駆除</li> <li>○海岸・海域清掃</li> <li>○藻場保全</li> <li>○二枚貝の放流</li> <li>○かいぼり</li> <li>○水域監視</li> <li>○海底への施肥など</li> </ul>	37	約2,800人
離島漁業再生交付金	<ul style="list-style-type: none"> <li>○種苗放流、投石礁の設置</li> <li>○産卵礁の設置、海底ゴミ回収</li> </ul>	(対象離島) 家島、坊勢島、沼島	



漁業者と消費者（コープこうべ組合員等）による  
森づくり（左）と海浜清掃（右）

#### 【イカナゴの肥育放流】

イカナゴの漁獲量は近年大きく減少しており、大阪湾では漁業者が3年連続で自主休漁を行うなど、深刻な状況。

海域の貧栄養化によるエサ不足によりイカナゴの肥満度が経年的に低下し、産卵数の減少につながっていることから、資源管理等に加え、緊急的な資源回復対策として、イカナゴの肥育放流や効果検証を実施。



海上囲い網での肥育イメージ



夏眠期にへい死したやせたイカナゴ

## II 豊かな海と持続的な水産業の実現

### イ 種苗放流

- 兵庫県第8次栽培漁業基本計画（令和5～9年度）に基づき、水産資源の維持・増大に向け効果的な栽培漁業を推進するため**多様な魚種の種苗を生産・放流**。
- 淡路栽培漁業センターでは、海底の有機物を分解し**栄養塩類の放出が期待されるマナマコ、クマエビを「豊かな海再生種苗」と位置づけ**、令和4年度から本格的な生産・放流を実施。
- 本県を代表するマダコの漁獲量が激減していることを踏まえ、**令和5年度からマダコの種苗生産技術開発に着手**。



マナマコの種苗



クマエビの種苗

令和7年度種苗生産・放流実績(千尾・千個) (瀬戸内海)

[主要魚種を記載]

魚種	生産実績	放流実績	放流サイズ等
マダイ	271	217	50mm
ヒラメ	874	471	50mm (神戸市分含む)
マコガレイ	428	382	20-35mm (R6生産分)
アサリ※	75	75	5mm以上
ガザミ	6,270	5,721	C1 (約4.5mm)
アカウニ	130	130	10mm
マナマコ	250	220	10mm (一部中間育生中)
クマエビ	3,534	2,437	30mm

※アサリの生産実績は養殖用種苗を除いた数値を記載

### 【マダコ種苗の生産技術開発】

令和5年度から(公財)ひょうご豊かな海づくり協会に委託し、量産化試験に取り組んでいる。令和7年7月には淡路市で約1,700匹を、同年8月には明石市で約4,000匹を試験放流した。

令和7年度からは、調査船による浮遊稚ダコの分布状況や、着底稚ダコが好む生息環境などの調査を進めるとともに、貝殻等の基質に付着させての放流など、効果的かつ効果的な放流手法の開発を進めている。



明石市大蔵海岸での放流の様子



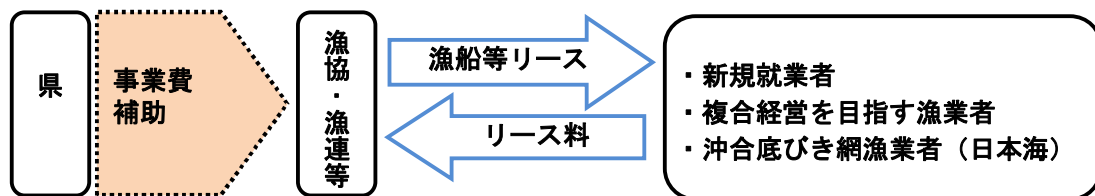
放流した稚ダコ

## II 豊かな海と持続的な水産業の実現

### (2) 漁業の成長産業化

#### ア 漁船漁業経営の高度化

- ・新規就業者や複合経営を目指す漁業者の**漁船取得等を支援**し、円滑な着業や経営の高度化を推進。
- ・労働環境の改善にむけた**機器導入を支援**し、人材不足の解消と漁業就業者の確保・定着を促進。



#### 【漁業施設貸与事業の実績(令和7年度)】

漁業種類	五智網	刺網	わかめ養殖	沖合漁業	合計
件数	1 (新規就業)	2 (新規就業)	1 (新規就業)	1 (船内冷凍庫)	5

#### 【漁業労働環境改善事業の実績(令和7年度)】

漁業種類	定置網	沖合漁業	カキ養殖	合計
件数	1 (揚網機)	2 (選別機)	6 (選別機、洗浄機)	9



五智網漁船（6.3トン）



カキ重量選別機

#### イ 共同利用施設等の整備

- ・漁業者の所得向上に資する**共同利用施設の整備に対し国事業に上乗せ補助**し支援。
- ・令和7年度は、浜坂漁業協同組合の荷さばき施設（増設）ほか2箇所の施設整備を支援。



荷さばき施設（浜坂漁港）



大型ノリ自動乾燥機（久留麻地区）

## II 豊かな海と持続的な水産業の実現

### ウ 収益性の高い養殖業の確立

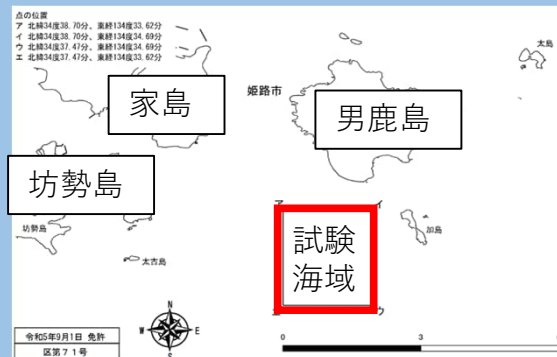
#### (ア) 藻類養殖（ノリ、ワカメ）

- ・ 栄養塩類不足や水温低下の遅れなど、漁場環境の変化に大きく影響を受けるため、漁業環境観測システムを活用し、**水温や栄養塩類濃度などの観測データを迅速に漁業者に提供。**
- ・ **ノリ養殖**では、**大型ノリ自動乾燥機や高性能刈取船の導入を支援**し、経営規模の拡大や効率化を進め収益性の向上と競争力の強化を図る。さらに、**高水温に強い品種の開発や食害対策を推進。**
- ・ **ワカメ養殖**では、水産技術センターが開発し漁業者に技術移転した**自家採苗技術の活用を指導**し、種苗の確保や安定生産に向け支援。

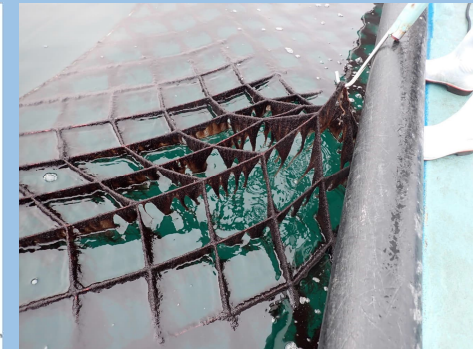
#### 【高水温に強い養殖ノリの作出】

水産技術センターでは、室内培養を中心としたこれまでの研究により、高水温でも生長の良い16の高水温耐性候補種を選抜。

野外試験等により、高水温期の芽の脱落が少なく水温降下後の成長が良い株について、引き続き試験を継続し、現場への導入を目指している。



野外試験の実施海域（区第71号内）



高水温耐性候補種の野外試験の様子

## II 豊かな海と持続的な水産業の実現

### (イ) 貝類養殖（カキ、アサリなど）

- ・ **カキ養殖**では令和7年漁期に大量へい死があり、**生産量・額ともに大きく減少**したため、資金繰りの支援や緊急モニタリングを実施。
- ・ また、**シングルシード養殖などの導入を支援**するとともに、環境変動に対応した**効果的な生産管理手法を検討**。
- ・ **アサリ養殖**では、増え続ける種苗需要を満たすため、**県産種苗の配布**に加え、漁業者による種苗生産や、より小型の種苗から養殖を開始する技術などの開発と普及を推進。

### (ウ) 魚類養殖（トラフグ、サーモンなど）

- ・ 魚類養殖は、給餌により生産管理や特徴づけができるため、「淡路島3年とらふぐ」や「坊勢さば」をはじめ、神戸市の養殖サーモンなど、各地で様々なブランドが生まれており、これらの育成・強化に向け各産地でPR活動を支援。

### 【オール兵庫でサクラマスの生産拡大】

南あわじ市の福良漁協では平成27年からサクラマスの養殖に取り組んでおり、現在では「淡路島サクラマス」として淡路島の春を代表する魚となっている。

令和6年からは神戸市の長谷漁協がサクラマスの稚魚の生産に着手し、令和7年には長谷漁協が生産した稚魚約1トンを導入し、養殖している。

今後は卵からのサクラマス稚魚の生産に取り組み、「オール兵庫県産サクラマス」の生産拡大を目指す。

### 【新】マガキ生産安定化推進事業

- ・ 環境モニタリングの強化（海洋環境・成育状況）
- ・ モデル地区での生育モニタリング
- ・ 陸上飼育試験によるへい死条件の研究
- ・ 環境変動対応に向けた新たな養殖手法等の実証（深吊り養殖、三倍体マガキ）
- ・ 養殖漁場の環境改善に向けた海底清掃への支援



マガキ養殖の様子



淡路島サクラマス



淡路島サクラマスグルメと  
両漁協組合長  
左) 福良漁協組合長  
右) 長谷漁協組合長

## II 豊かな海と持続的な水産業の実現

### 3 日本海～沖合漁業の経営維持と沿岸資源の増大～

#### (1) 沖合漁業の経営維持

##### ア 新船建造と高機能化・省力化の推進

- ・国事業や県事業を活用し、**燃料費など操業コストの削減**や漁獲物の**付加価値向上**、**就労環境の改善**に必要な装備などを取り入れた沖合底びき網漁船等、基幹となる**沖合漁業の新船建造等を推進**



令和7年に竣工した沖合底びき網漁船

#### 沖合漁業の新船建造等実績（国事業）

種類	在籍漁船数	H19～R7実績	R8計画
沖合底びき網	36	15	1
べにずわいがにかご	9	2	—

#### 沖合漁業の機器整備実績（県事業）

種類	在籍漁船数	H28～R7実績 (延べ件数)
但馬漁協	32	7
浜坂漁協	13	9

#### イ 船員の確保・育成

- ・沖合漁業の慢性的な船員不足を解消するため、平成23年度から**未経験の船員就業希望者を対象に漁協等が行う実地研修を支援**。研修修了者の約5割が現在も就業

#### 船員就業希望者研修実績

区分	参加人数	就業者数
H23～R6	86人	37人
R7(見込)	6人	5人
累計(見込)	92人	42人



沖合底びき網漁船での研修

## II 豊かな海と持続的な水産業の実現

### (2) 沿岸資源の増大

#### ア 種苗放流

- 兵庫県第8次栽培漁業基本計画（令和5～令和9年度）に基づき、**一本釣りや潜水等の沿岸漁業が対象とする魚種の種苗を生産・放流。**

令和7年度種苗生産・放流実績(千尾・千個)（日本海）

[主要魚種を記載]

魚種	生産実績	放流実績	放流サイズ
マダイ	300	240	50mm
ヒラメ	200	155	50mm
カサゴ	14	14	40mm
キジハタ	4	4	50mm
アワビ類	31	31	20mm
サザエ	27	27	15mm



但馬栽培漁業センターで生産したカサゴの稚魚

### (3) 水産加工業の振興

- 昭和63年に香住漁港東港の水産加工団地内に整備された**排水処理施設**は、老朽化により臭いの発生などの課題が生じていたため、**香美町が改築整備を行い、令和7年8月から供用開始。**県は国事業の上乗せ補助により支援。
- 脱臭装置等の機能強化により、周辺環境の改善や運転経費が削減。



改築された排水処理施設（香美町）

## II 豊かな海と持続的な水産業の実現

### (4) 外国漁船等対策

#### ア 日韓漁業問題

- 平成11年の日韓漁業協定発効により設定された日韓漁業暫定水域は、本来、日韓両国が操業できる海域だが、実情は**韓国側に独占され、我が国の漁船が操業できない**状況。
- 加えて、暫定水域に隣接する我が国EEZ内には違法に残置された漁具によるゴーストフィッシングがズワイガニなどの資源に悪影響を与えている。このため、沖合漁業の漁業者は国基金を活用し、**毎年、違法漁具の撤去など海底清掃活動を実施**。

#### イ 大和堆周辺における集団違法操業

- 大和堆周辺では、スルメイカ等を目的とした多数の外国漁船が我が国排他的経済水域内に侵入し、資源を収奪するとともに、我が国の漁船の操業を妨害。

#### ウ 北朝鮮によるミサイル発射等

- 北朝鮮によるミサイル発射が頻発し、漁業者の不安が増大。  
(令和7年1～12月で計3回)
- 国に解決を要望するとともに、県では、香住漁業無線局で、24時間365日、**本県漁船の現在位置の把握や操業安全に必要な情報の伝達、発射事案発生時の迅速な安否確認等**を実施。



外国漁船の違法漁具による  
ゴーストフィッシング



但馬水産事務所内の無線局

## II 豊かな海と持続的な水産業の実現

### 4 経営の安定化

#### (1) 漁業制度資金の融通

##### ア 漁業近代化資金【利子補給】

・漁業者や水産加工業者の**資本装備の高度化と漁業経営の近代化に資する長期の設備資金**を融通

##### イ 豊かな海づくり資金【利子補給】

・漁業者や水産加工業者の事業に必要な**運転資金のほか、災害などに対応した低利資金**を融通

##### ウ 沿岸漁業改善資金【直接貸付】

・沿岸漁業者の経営合理化や担い手の育成確保などを目的に、無利子の資金を貸し付け

#### 漁業制度資金の利用実績

(令和8年3月31日現在)

区分		R3	R4	R5	R6	R7	主な事例
漁業近代化資金	件数	133	128	116	123	119	漁船、漁船用機関、魚探、ノリ全自動乾燥機等
	金額(百万円)	1,763	2,076	2,091	1,699	2,420	
豊かな海づくり資金	件数	73	48	39	42	93	水産加工用原料魚、ノリ養殖用種網、魚類養殖用餌料、カキ養殖用種苗、燃油の購入等 ※R7年12月補正でマガキ不漁対策として災害資金を拡充（3年間無利子化、貸付期間及び貸付限度額の拡充）
	うち加工原材料高騰対策	-	-	37	35	30	
	うちマガキ不漁対策※	-	-	-	-	62	
	金額(百万円)	705	607	618	536	1,297	
	うち加工原材料高騰対策	-	-	412	316	293	
うちマガキ不漁対策※	-	-	-	-	805		
沿岸漁業改善資金	件数	0	2	0	0	0	漁船機関、レーダー、GPS受信機 等
	金額(百万円)	0	16	0	0	0	

※漁業近代化資金、豊かな海づくり資金の実績は利子補給承諾ベース

※沿岸漁業改善資金は、漁船機関等を対象にする国の補助事業が設けられたため、貸付が減少している。

## II 豊かな海と持続的な水産業の実現

### (2) 燃油高騰対策

#### ア 漁業用燃油の供給安定化

- ・ 漁業者に燃油を供給する県漁連の仕入れコストを軽減するため、**燃油の一括購入にかかる豊かな海づくり資金への利子補給**により、漁業用燃油の価格と供給の安定化を推進。

#### イ 漁業経営セーフティーネット構築事業の利用推進

- ・ 燃油・配合飼料価格が上昇したときの影響を緩和するため、価格が上昇した際に、漁業者・養殖業者と国の拠出により積み立てられた基金から補填金を交付するセーフティーネット構築事業の利用を推進。

セーフティーネット構築事業（燃油）の加入状況（R7）

件数	補てん実績（R7.4～R7.12）
1,584	94百万円

### (3) 共済加入の推進

#### ア 漁業収入安定対策制度の推進

- ・ 資源管理に取り組む漁業者等を対象に、漁業者と国の拠出により積み立てられた基金から漁業共済に上乗せ補填する「**積立ぷらす**」と**共済掛金の追加補助からなる漁業収入安定対策制度を活用し、経営安定を推進**。
- ・ 県では制度要件である資源管理協定等の作成や取組の指導などを通じて制度の円滑な運用と加入を促進。

漁業収入安定対策の活用状況（R7）

収入安定対策加入件数	対策活用者の漁業生産額(A)	県内漁業生産額(B)	対策活用者の割合(A/B)
881	50,773百万円	69,800百万円	73%

#### イ 養殖漁業（魚類）の赤潮等による被害の補償

- ・ 通常の共済契約では支払対象とならない異常な赤潮等による損害を補てんする赤潮特約にかかる掛け金を、国と共に助成。（負担割合 国2/3 県1/3）

赤潮特約の加入状況（R7）

対象魚種	加入件数
タイ、フグ、サクラマス	13（加入率100%）

### III 活力ある水産業と地域づくりの推進等

#### 1 経営感覚に優れた後継者等の確保・育成

##### (1) 新規就業者の確保

- ・就漁希望者を対象に漁協等が行う漁業現場での実地研修を支援する国の**経営体育成総合支援事業の活用**を推進。

経営体育成総合支援事業の実績(令和7年度)

区分	R7事業開始者数	R7事業終了者数	R8事業継続者数	研修期間
雇用型	18人	12人	6人	最長2年
独立型	2人	1人	1人	最長4年

新規就業者の推移

項目	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
県計	64	48	43	50	41	58	54	53	56
瀬戸内海	53	42	34	41	35	51	48	48	53
日本海	11	6	9	9	6	7	6	5	3

##### (2) 本県水産業を先導する人材の育成

- ・将来の水産業を先導する人材育成のため（一財）兵庫県水産振興基金が設けた「**大輪田塾**」に協力し、講師の派遣や修了論文の作成を指導。
- ・**平成17年の開講**以降、これまでに**97名の塾生が課程を修了し、組合長や漁協等の役員を輩出**するなど大きな成果を挙げており、現在も10名の塾生が在籍。



大輪田塾でのグループワークの様子

### III 活力ある水産業と地域づくりの推進等

## 2 水産物の需要喚起に向けた魚食普及と消費拡大の推進

### (1) 魚食普及の推進

- ・ **県漁連等が行う魚食普及活動を支援**
- ・ 一般向け料理教室や小中学校向けさばき方教室
- ・ 産地見学会や大学生と連携した学習会
- ・ 量販店でのレシピ配布や販売促進PR活動
- ・ レシピ動画や旬の魚情報などをSNSで配信



料理教室の様子

### (2) ブランド化の推進

- ・ **県水産物のブランド化を図るPR活動を推進**するとともに、未利用資源の開発など新たな特産物を創出。
- ・ **コープこうべ、兵庫県漁連、兵庫県が協力して地魚PRイベントを実施**し、消費拡大を推進

県漁連の料理教室開催実績（令和7年度）

回数	参加人数
333回	8,372人



低利用魚（アカエイ等）の商品開発

### 【低利用魚（クロダイ）の利用促進】

近年、養殖ノリの食害が問題になっているクロダイだが、本県では古くから食されてきた歴史がある。

そのおいしさの認知・拡大及び持続的利用を目的として、R7年6月に水産庁が始動した「クロダイのおいしさ認知向上プロジェクト」に兵庫県漁連とともに兵庫県も参画し、学校給食等での利活用を促進。

「クロダイ」ってご存じですか？  
今、注目！

クロダイのおいしさ認知向上プロジェクト、始動！

水産庁では、クロダイの消費量が多い群馬、研究機関及び「さかなの目」期間メンバーとともに、クロダイのおいしさ・価値の認知を拡大するプロジェクトを推進しました。

近年、各地でクロダイによる食害が問題となっていますが、西日本では郷土料理としても古くから食されてきており、実は、クロダイは大変おいしい魚です！

このプロジェクトは、クロダイのおいしさ・価値を多くの方に知っていただくとともに、クロダイの持続的利用を図り、結果として漁業被害の軽減を図ることを目的としています。

今後、本プロジェクトへの参画を希望する組織・企業をさらに募り、産地及び研究機関と企業とのマッチングを図り、クロダイのおいしさ・価値の普及に取り組んでいきます。

水産庁  
プロジェクトメンバー：兵庫県、愛知県、大阪府、岡山県、茨城県、広島県、香川県、千葉県、福岡県及び各府県の行政部局及び研究機関、熊本大学、広島大学、国立研究開発法人 水産研究・教育機構

【お問い合わせ】水産庁 加工流通課 認知推進班 03-6744-2350

### 【(株)ワールド・ワンとのグルメフェアの開催】

県産農林水産物等の認知度向上・需要拡大を図るため、(株)ワールド・ワンと連携し、R8年2月の14日間、マガキや岩津ねぎなどの県産食材を使った料理を楽しめるグルメフェアを開催。

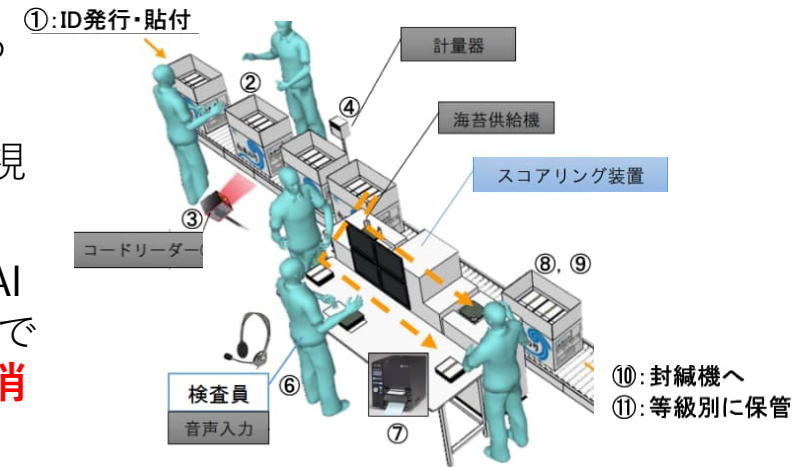
ワールド・ワンが運営する居酒屋15店舗で、牡蠣と岩津ねぎのバター醤油ホイル焼きや牡蠣フライなどを提供

牡蠣と岩津ねぎのバター醤油ホイル焼き  
(マガキ、岩津ねぎ使用)

### III 活力ある水産業と地域づくりの推進等

#### 3 スマート水産業の推進

- ・乾ノリの色調検査業務のDX化を目指した県漁連の取組を支援するため、県は「**兵庫のりスマート流通プロジェクト**」に参画。
- ・乾ノリの品質は、細かく等級分け(格付け)されるが、検査員が目視で行う相対評価であることや検査員の人材不足など課題が多い。
- ・現在、県漁連がグローリー(株)と共同で、最新の画像認識技術とAI技術を活用して開発した乾ノリ色調検査機の実証試験に取り組んでおり、**品質を数値化(絶対評価)**することで、**検査業務の効率化や消費者目線の「見える化」を推進**。



自動化後の検査ライン

#### 4 安全安心な流通の確保

##### (1) 違法に採捕された水産動植物の流通防止

- ・特定水産動植物等の国内流通の適正化等に関する法律の施行により、アワビ、ナマコ、ウナギ稚魚（令和7年12月追加）、太平洋クロマグロ（令和8年4月追加）を採捕する漁業者や流通・販売、加工を行う事業者からの届出（令和8年4月現在採捕事業者1,793件）を受けるとともに、制度の適正な履行に向け指導を実施。

##### (2) 貝毒監視体制の整備

- ・**アサリやマガキ等の貝毒蓄積状況を監視**し、毒化した貝の流通を未然に防止するとともに、県民へ正確な情報を迅速に提供。

監視実績（令和7年度）

監視対象種	監視地点	監視回数	検体数
アサリ、マガキ、イワガキ、トリガイ、アカガイ、ナミガイ、スダレガイ	34カ所	74回	251検体

### III 活力ある水産業と地域づくりの推進等

#### 5 内水面における水産資源の維持と地域活性化の推進

##### (1) 内水面水産資源の増殖

- ・近年、河川環境の悪化などにより溪流魚、特にアユの生息数が減少。
- ・このため、**産卵親魚を放流する内水面漁協の取組を支援**し、翌年の稚アユの天然遡上を下支えすることでアユ資源を維持・増大。



竹野川でのアユ産卵親魚の放流

##### (2) 内水面生態系の維持保全

- ・河川の清掃や魚介類の移動を阻害する魚道内の堆積土砂の除去、外来魚やカワウの効率的な駆除・防除対策など、**内水面漁業者等が行う河川の生態系を保全する活動**やそれらを通じた**環境学習の取組を支援**。

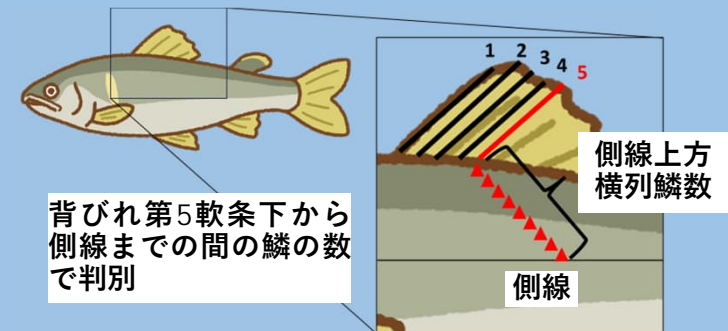
令和7年度の活動状況

活動組織			主な活動
関係市町	活動組織数	構成員数	
加古川市 他16市町	10	約850人	河川清掃、環境学習など

#### 【アユの遡上量調査】

水産技術センターでは、令和7年度から日本海側の河川において、アユの遡上量調査を実施している。本調査では、天然個体と放流個体で鱗の数が異なるという特徴を用い、河川全体における天然個体と放流個体の比率を算出、放流した尾数との関係から遡上量を推定した。本手法により、矢田川における令和7年のアユの遡上量は約86～161万尾と推定された。

アユの遡上量は、資源管理や放流効果評価の基礎となる重要な指標であり、今後は、遡上量の経年変化を把握することで、より効果的な放流手法の開発につなげていく。



天然個体と放流個体の見分け方

※天然個体の方が放流個体より側線上方横列鱗数が多い。  
(天然個体は16～17枚以上)

# IV 漁港の整備・保全

## 1 漁港・海岸の概況

- ・ 漁業活動の拠点となる **漁港は県下に53漁港**あり、津波等の災害から地域を守る防災施設としても重要な役割を担っている。

漁港の状況（令和8年4月1日現在）

漁港の種類	管理者別		地区別			計
	県管理	市町管理	摂津・播磨	但馬	淡路	
第1種	2	34	10	12	14	36
第2種	10	4	5	1	8	14
第3種	2	1	1	2	—	3
計	14	39	16	15	22	53

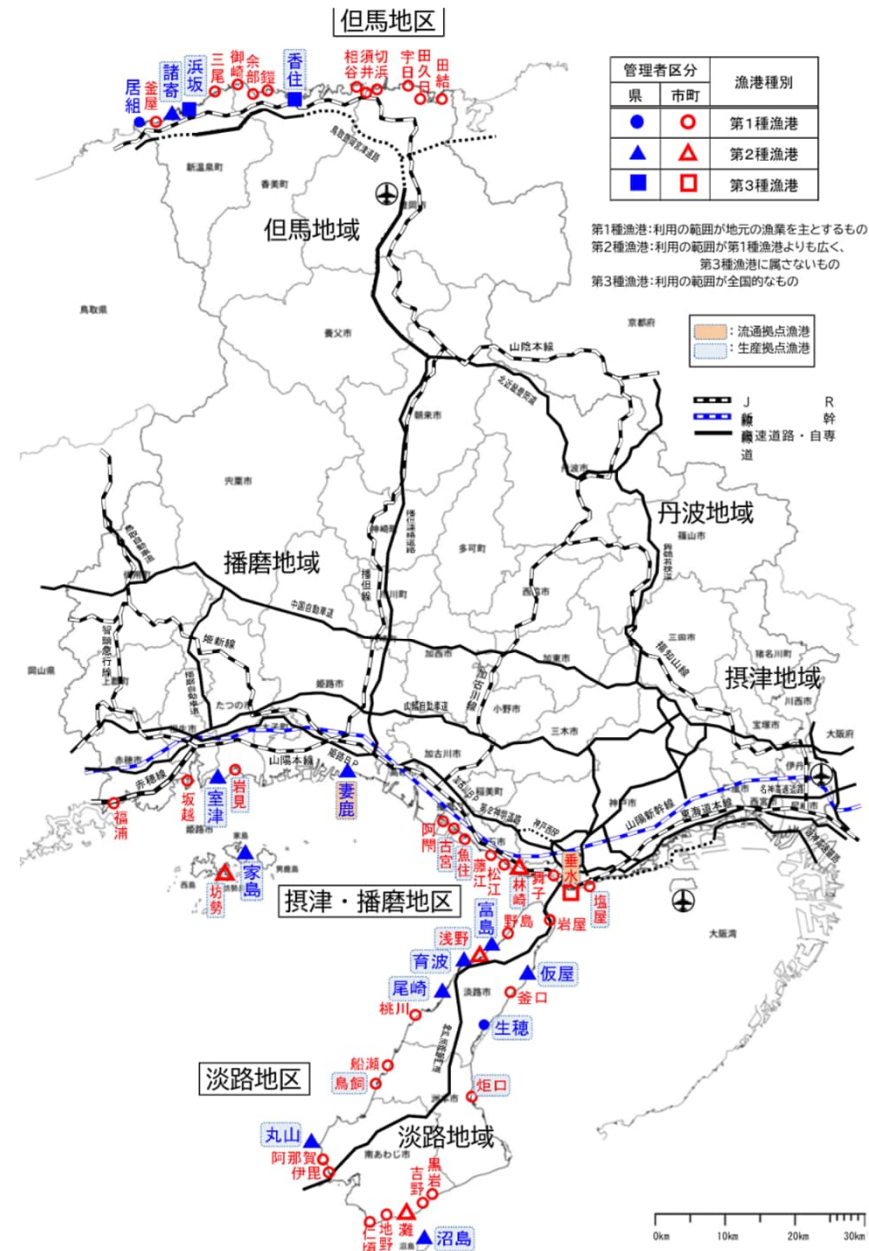
- 第1種漁港：利用の範囲が地元の漁業を主とするもの
- 第2種漁港：利用の範囲が第1種漁港よりも広く、第3種漁港に属さないもの
- 第3種漁港：利用の範囲が全国的なもの

海岸の状況（令和7年度海岸統計）

区分	県全体	漁港海岸	比率(%)
海岸線延長 (km)	856.2	108.3	12.6
うち海岸保全区域延長	444.5	48.1	10.8

海岸保全区域：高潮や浸食等による被害から海岸を防護するため、知事が一定の区域を指定したもの

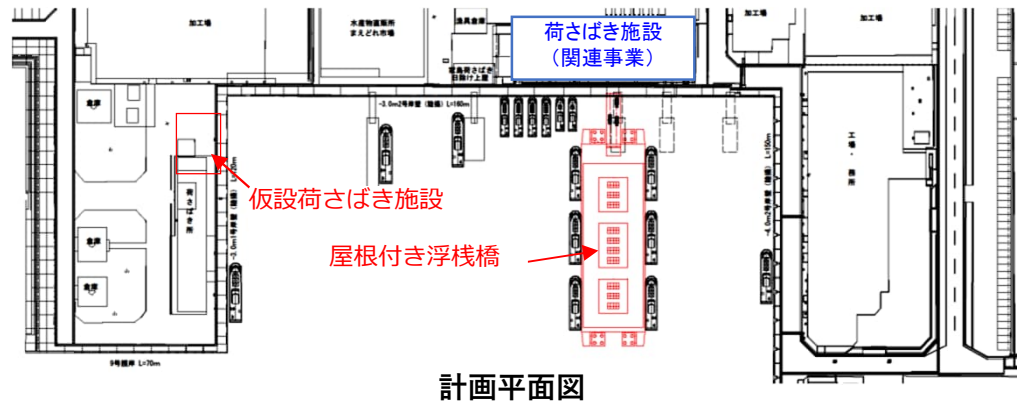
兵庫県漁港位置図



## IV 漁港の整備・保全

### 2 漁業生産活動の効率化、省力化を図るための施設整備

- 陸揚作業の効率化・軽労化を図る浮棧橋や港内の静穏度向上を図る防波堤など、漁業活動の環境改善を図るための施設整備を推進。
- 播磨地域の流通拠点漁港である**妻鹿漁港**（姫路市）において、**衛生管理対策及び陸揚作業の軽労化を目指した屋根付き浮棧橋等の整備**を実施。（令和9年度完成予定）

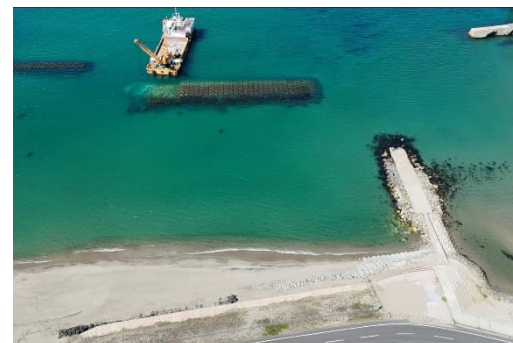


屋根付き浮棧橋（整備イメージ）

### 3 漁港施設の保全対策の推進

- 既存施設の老朽化に伴う機能低下を防ぐため、漁港施設の保全対策を計画的に推進。
- 浜坂漁港**（新温泉町）では海岸浸食が進行しているため、離岸堤の拡幅やボードウォーク付近の護岸修繕などの**老朽化対策**を実施。

令和7年度 実施箇所		令和8年度 実施予定箇所	
室津漁港	物揚場防食工	浜坂漁港	離岸堤保全工
香住漁港	護岸防食工	尾崎漁港	浚渫工
その他	浜坂漁港 等	その他	家島漁港 等



浜坂漁港 海岸離岸堤工事状況



浜坂漁港 海岸の浸食状況

## IV 漁港の整備・保全

### 4 防災・減災対策の推進

#### (1) 沼島漁港（南あわじ市） 津波対策

- ・ **南海トラフ巨大地震による津波** に対しては、津波到達時間が44分と県下で最も早い**沼島漁港**において、浸水被害の軽減を図るため、漁港の入り口に「**港口水門**」を**新設**するとともに、防護ラインを形成する**防波堤の嵩上げ**等を実施中。
- ・ 本港地区では、令和7年度末に港口水門・防波堤が完成。
- ・ 泊地区は現在水門整備のための仮棧橋を施工中。今年度には水門本体工事の発注を予定。



沼島漁港 津波対策概況



本港地区港口水門 完成状況



泊地区港口水門 仮棧橋設置状況

## IV 漁港の整備・保全

### (2) 浜坂漁港 漁船の大型化対応

- ・ 漁船の大型化等に対応するため、**令和8年度から浜坂漁港（新温泉町）の整備事業に着手。**

#### 【目的】

#### ① 漁業活動の生産性向上

- ・ 岸壁・泊地の増深による漁船大型化への対応と、防波堤の嵩上げによる港内の波の低減。

#### ② 耐震性能の強化

- ・ 岸壁等の耐震化により、地震発生時における漁業生産活動の持続性を確保するとともに、大規模地震時の緊急物資の輸送機能を確保。



浜坂漁港 事業実施箇所



干潮で動けなくなった大型船舶を漁船で救助する様子



越波が発生し、港内が荒れている様子

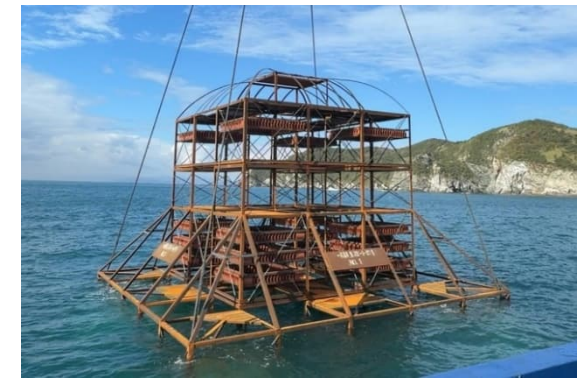
## V 漁場の整備

### 1 漁場整備の推進

- ・ 漁業生産力向上のため、マダイ、スズキ、アジ等を集める**魚礁の設置**や、カレイ類、メバル、カサゴ等の産卵親魚の保護や稚魚の育成を図る**増殖場を造成**。

沿岸漁場整備事業の実績・計画 (R7,8)

事業種目	海域	R7実績(地区名)	R8計画(地区名)
増殖場 (県営)	瀬戸内海	加島南、沼島第7、由良第2、洲本、五色	加島南、沼島第8、一宮
	日本海	三尾	—
大型魚礁 (県営)	瀬戸内海	北淡	北淡、塩田
	日本海	釜屋沖	釜屋沖、浜坂沖
並型魚礁 (市町営[補助])	瀬戸内海	家島第3	—
	日本海	—	—

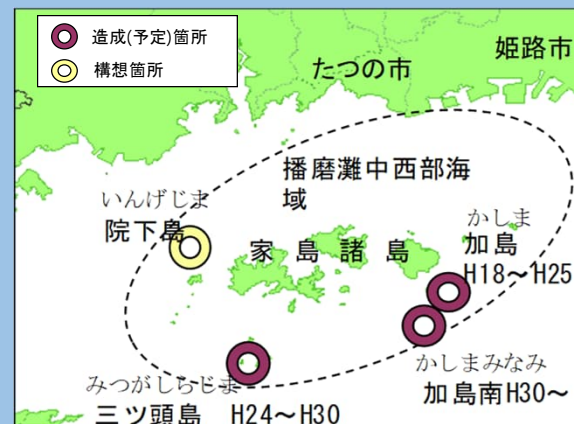


漁場整備の状況

#### 【第2の鹿ノ瀬構想】

平成18年度から、播磨灘中西部で天然の好漁場として知られる鹿ノ瀬に匹敵する大規模な漁場を整備中。

完成済みの地区では、漁業者の要請をもとに瀬戸内海海区漁業調整委員会が漁業法に基づく指示を行い、全ての水産動植物の採捕を禁止して産卵親魚等の保護機能を強化し、増殖効果の早期発現を図っている



第2の鹿ノ瀬構想 全体図



増殖場内のメバル稚魚

## VI 海業の推進

### 1 「海業」の推進による漁村地域の活性化

- ・人口減少や高齢化が進行する漁村地域の活性化のため、漁港施設を活用し、**海や漁村が有する価値や魅力を活かした「海業」を推進**。
- ・丸山漁港（南あわじ市）では、令和7年7月に、**都道府県管理漁港では初**（全国では3例目）となる「活用推進計画」を策定・公表。公募を経て、令和7年8月に事業を実施する民間事業者を決定。  
施設オープンは令和9年5月頃を予定。
- ・居組漁港（新温泉町）では、浜坂漁業協同組合が中間育成施設を活用したウニの陸上養殖を開始。老朽化した海の家建て替えと連携したマリンアクティビティの導入も検討中。

#### < 丸山漁港の実施計画 >



#### 水産物の消費増進

- ① 漁港食堂・浜焼きテラス・水産物販売施設
  - ・丸山漁港で水揚げされた新鮮な魚介類を活用し、地域の魅力を発信  
飲食提供施設、水産物販売施設を整備
- ② チャレンジショップ
  - ・プレハブ店舗やキッチンカー等により、地域住民や事業者が新商品  
等を期間限定で試行的に販売・提供

#### 交流の促進

- ③ 海洋環境学習施設（水族館）
  - ・生物展示や生体観察を通じて海洋環境・生態系への理解を深める教育  
拠点を設置（既存施設を活用）
- ④ 海上釣り堀、⑤ 海釣りエリア
  - ・釣り体験の提供に加え、漁港食堂等と連携した「捌き体験」等を通  
じて、獲る・捌く・食べるという一連のプログラムを提供
- ⑥ 漁船クルーズ、漁業体験の実施
  - ・漁協と連携して、漁船による周遊や定置網等の操業体験を提供
- ⑦ ビオトープの整備
  - ・地域住民や来訪者が自然とふれあえる公共性の高い空間として塩性  
湿地によるマリンビオトープを設置